

南海トラフ巨大地震に備えて

# 守るけん

# みんなの命 耐震化

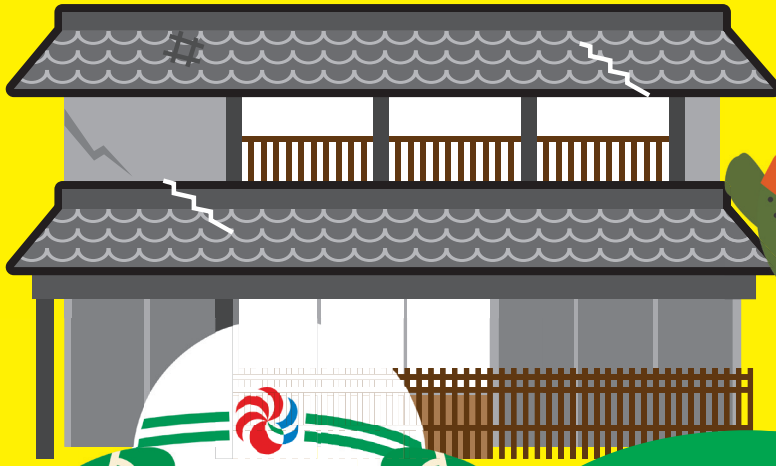
## 耐震改修工事等 標準的な場合の補助金

合計

# 100万円!

瓦改修でさらに…

# +55.2万円!



瓦屋根の改修工事にも  
補助金があるけん!

(※)一部市町での実施

耐震診断は  
3,000円から  
実施できるけん!



木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐風改修工事等について

## どどーんと補助します! (昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)



愛媛県 建築住宅課 TEL 089-912-2757

詳細は、お住まいの市役所・役場までお願いします。

県HP▶

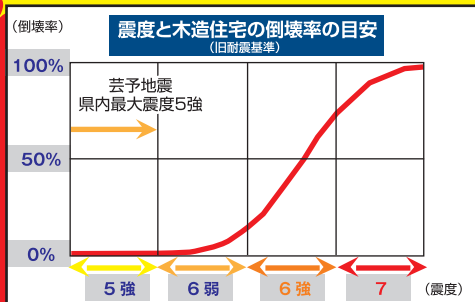


# 耐震改修により倒壊から命を守りましょう!

— 耐震診断・耐震改修には補助制度があります —

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造住宅が対象です。

(昭和56年5月以前の着工) **旧耐震基準の木造住宅は  
震度6強~7の大地震で  
倒壊する可能性大!**



木造住宅耐震化促進事業の流れ

## STEP1

**木造戸建て住宅**  
(S56.5.31以前に着工されたもの)

**耐震診断**  
(下記制度から選択)

①派遣制度  
自己負担**3,000円**  
又は**9,900円**  
or  
②補助制度  
上限**4万円**を補助  
(費用の2/3)

診断の結果、倒壊の可能性がある  
(上部構造評点1.0未満)と  
判断された住宅は、STEP2へ

## STEP2

**耐震改修設計**  
(一部市町)  
上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への設計  
上限**20万円**を補助  
(費用の2/3)

補強設計 →

## ブロック塀等

**ブロック塀等安全対策工事**  
避難路等に面する  
危険ブロック塀等の  
除却又は建替え工事  
上限**30万円**を補助  
(費用の2/3)

## 補強工事

## STEP3

**耐震改修工事**  
上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への工事  
上限**100万円**を補助  
(費用の4/5)

**耐震改修工事監理**  
(一部市町)  
上限**4万円**を補助  
(費用の2/3)

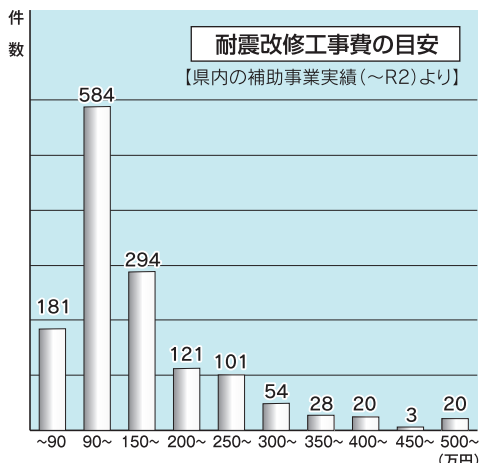
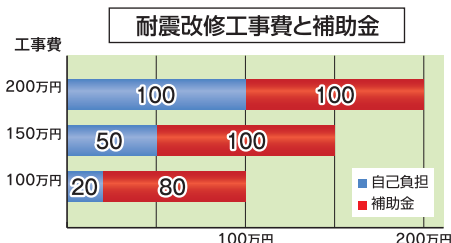
**耐風改修工事**  
基準に適合しない瓦屋根の  
葺き替え工事(※)  
(一部市町)  
上限**55.2万円**を加算  
(費用の23/100)

(※)耐震改修工事と併せて実施する  
耐風改修工事に限ります。

※上記制度は令和5年度における県内の代表的な市町の例です。詳細は各市町窓口にお問い合わせください。

## 耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、**100~150万円程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担額を少なくできます。**



実際に補助金を活用して、  
耐震補強工事を行った人の声

松山市のHさん



- 耐震補強をしようと思ったきっかけ  
秋に、ここの中古住宅を購入したのですが、たまたまその時に見た広報誌の一角に、耐震工事の補助制度があるというのが載っていたので、あ~なんとか、私も!補助金を活用したい!!って思いました。
- 耐震化工事を終えて  
大きな安心がありますし、それから、いろいろな部分でとても快適になり、喜んでおります。公的にも後押しをグンとしていただきました。
- みなさんへ  
耐震改修工事までは、なかなかおっくうかもしれないけど、お家の状況を知るために、まずは、耐震診断をおすすめします。家のことを考えるきっかけにもなります。

南海トラフ巨大地震に備えて

# 守るけん

# みんなの命 耐震化

南海トラフ大地震がきたら

おじいちゃん  
おばあちゃんのお家

大丈夫かな？

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が補助対象)



木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐風改修工事等について

**どどーん**と補助します！ (耐震改修工事等に合計100万円、耐風改修工事に55.2万円を補助します)



愛媛県 建築住宅課 TEL 089-912-2757

詳細は、お住まいの市役所・役場までお願いします。

県HP▶

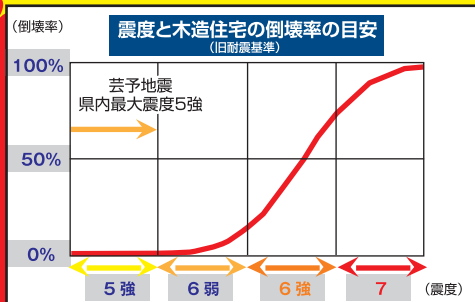


# 耐震改修により倒壊から命を守りましょう!

— 耐震診断・耐震改修には補助制度があります —

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造住宅が対象です。

(昭和56年5月以前の着工) **旧耐震基準の木造住宅は  
震度6強~7の大地震で  
倒壊する可能性大!**



木造住宅耐震化促進事業の流れ

## STEP1

**木造戸建て住宅**  
(S56.5.31以前に着工されたもの)

**耐震診断**  
(下記制度から選択)

①派遣制度  
自己負担**3,000円**  
又は**9,900円**  
or  
②補助制度  
上限**4万円**を補助  
(費用の2/3)

診断の結果、倒壊の可能性がある  
(上部構造評点1.0未満)と  
判断された住宅は、STEP2へ

## STEP2

**耐震改修設計**  
(一部市町)  
上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への設計  
上限**20万円**を補助  
(費用の2/3)

補強設計 →

## ブロック塀等

**ブロック塀等安全対策工事**  
避難路等に面する  
危険ブロック塀等の  
除却又は建替え工事  
上限**30万円**を補助  
(費用の2/3)

## 補強工事

## STEP3

**耐震改修工事**  
上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への工事  
上限**100万円**を補助  
(費用の4/5)

**耐震改修工事監理**  
(一部市町)  
上限**4万円**を補助  
(費用の2/3)

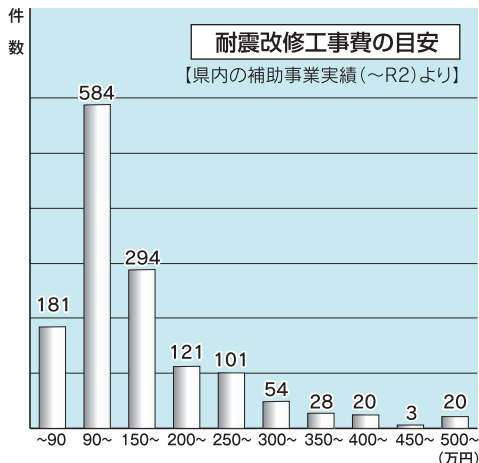
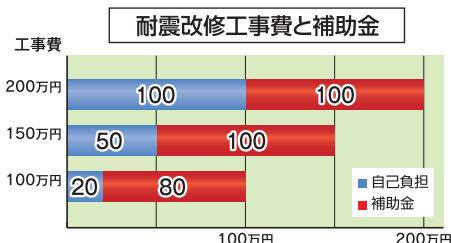
**耐風改修工事**  
基準に適合しない瓦屋根の  
葺き替え工事(※)  
(一部市町)  
上限**55.2万円**を加算  
(費用の23/100)

(※)耐震改修工事と併せて実施する  
耐風改修工事に限ります。

※上記制度は令和5年度における県内の代表的な市町の例です。詳細は各市町窓口にお問い合わせください。

## 耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、**100~150万円程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担額を少なくできます。**



## 実際に補助金を活用して、耐震補強工事を行った人の声

松山市のHさん



- 耐震補強をしようと思ったきっかけ  
秋に、ここの中古住宅を購入したのですが、たまたまその時に見た広報誌の一角に、耐震工事の補助制度があるというのが載っていたので、あ~なんとか、私も!補助金を活用したい!!って思いました。
- 耐震化工事を終えて  
大きな安心がありますし、それから、いろいろな部分でとても快適になり、喜んでおります。公的にも後押しをグンとしていただきました。
- みなさんへ  
耐震改修工事までは、なかなかおっくうかもしれないけど、お家の状況を知るために、まずは、耐震診断をおすすめします。家のことを考えるきっかけにもなります。